

## 高島市立湖西中学校

## 活動テーマ

## かばた・水環境学習

## 実践事例について

湖西中学校の第2学年では、総合的な学習の時間(ふるさと学習)の一環として、水に関する学習を行っている。高島市新旭町には全国でも有名な「かばた」があり、古来より水を大切にしながら、人々が生活を営んできた。その「かばた」を含め上流のトレイルから棚田、かばた、ヨシ原の「水の旅」という視点を通して、フィールドワークを取り入れながら水の大切さや人とのかかわりを学ぶ学習である。

## 1 座学

(1) ふるさと高島における「水の旅」について「トレイル」・「棚田」・「かばた」・「ヨシ原」そして「琵琶湖」を対象として学ぶ。



ア トレイル…琵琶湖西岸の比良山系は全国で一番低いトレイル(分水嶺ともいい、降った雨が太平洋側か日本海側に分かれる地点のこと)である。この比良山に降り積もった雪が地中へと浸み込み、長年月を経て湧き水となる。

イ 棚田…高島市畑地区には全国的にも有名な棚田がある。しかし近年では耕作放棄地も増え、自然と人々が作り上げてきた景観が失われつつある。ここにも水と人との密接なかわりがある。

ウ かばた…湧き出した水が流れる川には「かばた」が点々と存在する。透き通った水底には梅花藻が水中花を咲かせる。ここでは日常的に使う水を汚すことなく、大切につかうことや下流の人たちへの優しさも感じられるシステムがある。



エ ヨシ原…琵琶湖湖岸のヨシ原は水を浄化する働きだけでなく、多くの生き物の命を育む場でもある。1年生の冬にヨシ刈りを体験した子どもたちは青々と茂ったヨシ原で再びヨシの働きを学ぶ。



オ 琵琶湖…言うまでもなく「母なる湖」と呼ばれる琵琶湖。かつて開発や赤潮によって死にかけた琵琶湖が再生されてきた。この琵琶湖を未来へ守っていくことは私たちの使命でもある。このことは県のキャッチコピー「預かっているのは滋賀県です」からもうかがい知れる。

## 2 グループワークⅠ

各学級にある6つの班で、「トレイル」・「棚田」・「かばた」・「ヨシ原」・「琵琶湖」それに加えて、地下水を利用した水耕栽培(アクアポニックス)テーマを設定し、事前学習を行う。

## 3 ワールド・カフェ

各学級の班で分担したテーマを今度は、テーマごとに6つの集団をつくり、前時に学んだ内容を交流し合うとともに、プレ発表会を通じて意見交

換を行う。この活動を通じてテーマについてより深く、様々な視点で学ぶことになる。



#### 4 フィールドワーク

ア 時間の都合ですべてのフィールドワークを実施することは不可能なので、棚田・かばた・ヨシ原および水耕栽培（アクアポニックス）の見学や講話を聴いた。実際にその場を訪れることで、体感すると同時に、現地の人々と触れ合うことで、より身近な問題として感じ取ることができた。また、棚田・かばた・ヨシ原の各ポイントでは、CODや pH といった科学的な視点からの水の環境を確認したり、プランクトンネット使用し、顕微鏡でプランクトンを観察したりすることで、多様な視点で水について学ぶことができた。



#### イ アクアポニックス

かばたのある針江地区には最近稼働した水耕栽培を行っている企業がある。針江地区の豊かな地下水を使用し、養分がなくなりきれいになった水が、エビや魚などの水槽に送られる。そこで糞尿により栄養価が高まった水が再び、野菜の栽培に使われるシステムで、一切無駄を出さない農業である。子どもたちは実際に施設を訪れ、水耕栽培を見ながら、話を聞き、実際に収穫されたトマトを試食した。



#### 5 グループワークⅡ

事前に調べた内容に加え、フィールドワークで

得た知見を加えると同時に、後に行うプレゼンテーションに向けての最終確認を行った。

#### 6 プレゼンテーション

プレゼンテーションは各学級で行うことで、自分たちが調べたテーマだけでなく、他のテーマについても学ぶことになる。また、保護者参観も兼ね、子どもたちの学びや活動についても理解を得られる機会とした。

#### 7 新聞づくり

総合的な学習の時間 ふるさと学習Ⅲ「かばた・水環境学習」のしめくくりとして、新聞づくりを行った。



#### 8 学びの深化

かばた・水環境学習の学びの最終形として、子ども自身が学びからシナリオづくりを行い、そのシナリオに基づいて、文化祭で劇として演じた。このことを通して、先輩や後輩、保護者や地域の方々に学びを伝えることができた。

学校名	高島市立湖西中学校
住所	高島市新旭町北畑564番地2
電話番号	0740-25-2271
E-mail	<a href="mailto:kosei-jhs@scl.city.takashima.shiga.jp">kosei-jhs@scl.city.takashima.shiga.jp</a>

・ エコ・スクール認定の審査ポイントは以下のとおりです。審査ポイントが分かるように一年間の活動内容を記載してください。

・ 字数および枚数、フォント等に制限はありません。

・ 活動の様子が分かる写真なども挿入ください（1～4枚程度）。

なお、写真はホームページに掲載可能なものとしてください。

《エコ・スクール認定審査のポイント》

- ① エコ・スクール活動に子どもたちが主体的に活動しているか。
- ② エコ・スクール活動が次の活動へとつながっているか。
- ③ エコ・スクール活動の実践にあたり地域と連携がとれているか。
- ④ 学校全体でエコ・スクール活動に取り組んでいるか。